



## DAYS 119から見る本編における豹と南雲の関係性

過去編のラスト直前であるDAYS119にて豹に再会した時の南雲が、その直前までの殺気に満ち満ちた顔から一気にぎゅるん顔になったあの衝撃。「おっ豹じゃん なんでこんなとこにいんの～？ 久しぶり～」という台詞と豹の「相変わらず」という台詞から二人が学生時代からの既知の仲であることが判明する。しかも久しぶりに会えたことが嬉しい間柄であることは南雲の表情からも自明。という大前提の元、本編での豹と南雲の絡みについて確認していく。

DAYS114スノーキングミッションにおいて坂本に会いにいった南雲に対して「しらばっくれるな」「殺してやろうか」「信用がおけねえ」とフォークをつきたてるも軽いなされる豹。つまりこの程度は慣れたやりとり。さらにDAYS55において殺し屋を引退して妻子がいる坂本に対して「中途半端に首突っ込んで死んで一残された妻や子供はどうなる!？」という至極真っ当な意見を述べていることから「一般人になった旧友にふらふら会いに行ってもじゃねえ!」という忠告じゃないのか、これ?と思われる。そして注目すべきは幕間の鈴木先生の落書き。豹のツンツンした髪の毛やピアスももりの耳に対して「すごい髪の毛だね」「耳そわいたくないの?」「ねえねえ」と呼びかける南雲。DAYS119を見た後にこの場面を見返すとどれだけ南雲が豹にかまってもらいたいのかが見て取れすぎる。

DAYS38ノーブレイクでは南雲の「不良とか怖いね～」という台詞に「白々しいんだよテメェ」と読者の気持ち代弁する豹。そして豹の「ぶち殺すだけだろ」に対して「あ そのセリフ昨日観た映画の～」と煽る南雲。一緒に見たのかな?と思わせられる親密さ。神々廻には「挑発するな」と言われるも「え?何が?」と言うあたりこの二人のこのようなコミュニケーションは日常茶飯事であることが推測される。

そして伝説のDAYS55。二人一緒に病室に現れる。なんでついてくんだよ、と言いつつもついて来ることを是とする豹。豹と坂本だけだと喧嘩になる事を知っているとORDER時代からの付き合いの長さをアピールしてくる南雲。そして学生時代からおバカ人組を知っている豹と、その豹が思い浮かべる学生時代の南雲は楽しそうな笑顔であることが判明。豹の名前は聞こえてこなかった～と言いつつDAYS119ではあれだけ再会して嬉しそうな様子を見せたことからめっちゃめっちゃ懐いていたに違いないと思われる。そして伝説の「豹は甘いな～だからいつも損するんだよ」どれだけ!豹のことを僕は知っているんだよ～アピールをするんですか南雲!と思うこと間違いなし。さらに2022年7月9日の南雲誕生日イラストに豹がボウルをシャカシャカ泡立てしている描写があり、後輩のためにケーキを焼いてくれる男であることが判明する。

DAYS119で四ツ村に殴りかかるようにする坂本を止めたり、9巻の巻末漫画で様子のおかしい大佛を気にするなど後輩思いな男である豹に対して懐いている南雲、という公式からの供給!これはもう妄想をするしかない!!!!

## 豹と南雲のここが最高!

その1:かまって欲しい南雲から豹への矢印がそれはそれはわかりやすい!

その2:付き合いの長さは作中随一!JCC時代の14歳~ORDERの27歳まで確定!

その3:見た目の美女と野獣ぐあいのが可愛いすぎる。がっちり筋肉質×細身(公式)長身な二人

その4:JCC時代のいつも笑ってた笑顔の南雲もORDERになってからのうさんくさい笑顔も憂い顔の南雲もそのすべてを知っていて回想シーンで見せつけてくる豹

その5:豹が優しく面倒見が良くて甘いということを知っている南雲という大前提!

その6:豹の訃報を聞いた後、吊る南雲の深い愛と寂寥と、押し殺した悲しみを内包した今までの作中で見たことのない表情。もうこれがヒョウナガのすべて!

さあみなさん!

一緒に豹×南雲に  
狂おうじゃありませんか!

## SAKAMOTO DAYS における豹と南雲の関係性に関する一考察

わか (サカデイ大学 腐女子学部 ヒョウナグ学科)

本研究は、週刊少年ジャンプにて連載されている鈴木裕斗作 SAKAMOTO DAYS に登場する豹と南雲の関係性が果たしてどのようなものであるのかについての考察を目的とする。尚、本研究を行っているわかにはヒョウナグというカップリングの沼に落ちてから既に二年と十一か月が経過しており、多大なるフィルターがかかっている点についてはあらかじめ述べておく。見えないコマとコマの隙間を埋める腐女子の性に対して、多大なる妄想の余地を与えている豹×南雲というカップリングについて重箱の隅を楊枝でほじくる考察を進めていく。

The purpose of this study is to examine the relationship between Hyo and Nagumo in SAKAMOTO DAYS by Yoto Suzuki, which is serialized in Weekly Shonen Jump. It should be noted that two years and 11 months have already passed since I fell into the swamp of the coupling called "Hyonagu," so I have a lot of filters on my mind. I will proceed with a discussion of the coupling of Hyo and Nagumo, which gives a lot of room for fantasy to the Fujyoshi who fills in the gaps between panels that cannot be seen.

### 1. はじめに

豹と南雲のカップリングの素晴らしさについては後述するため割愛する。この二人のカップリング沼の深さについては2022年1月24日に掲載されたDAYS55でハマって以来、合計9冊に渡りヒョウナグの本を書き、それ以外にもくるっぷやpixivにてヒョウナグネタを掲載しつづけているくるんちゅっぷりからも察していただければ幸いである。それまでは「南雲は受けやけど攻めがいてへんからな〜」などとのんびりぼんやりと南雲を愛でただけの女が、何故これほどにヒョウナグに狂っていったのかについて、こんな人間もいるのだな、と認識していただければと思い今回の執筆に至った。しかし私は強欲な人間であるため、できればヒョウナグ沼に同じようにハマって欲しい。その一心でくるっぷやpixivでの短編、同人誌、そしてこのプレゼンペーパーを作成している。願わくば一人でも多くの方がヒョウナグにハマリ、そしてこの世にヒョウナグの二次創作が増えることをただただ願い続けている。

### 2. 南雲について

SAKAMOTO DAYS 初登場時はDAYS6 ナグモであり第一話の巻頭カラーにも登場しているキャラクター。初登場時においては坂本の変装をして登場するというトリックスターぶりを発揮している。変装の達人であり、体型まで含めて完璧に変装することができ、また一瞬でその変装を解くことができるだけでなく、他人も変装させることができるということが本編において判明しているが、その

原理については謎に包まれている。初登場時の自己紹介で「ぼくは南雲 向かいのスーパーの店員で坂本くんの友達だよ 18歳」と本当のことと嘘を混ぜて自己紹介していることから常習的に嘘をつくタイプと推測されており、第一回人気投票のキャラ紹介では変装の達人で嘘つきと明言されている。懸賞金サイトで坂本に10億がかけられたことの忠告に現れた。その際ピッツァ中島により「このイケメン～」と言われていることと、2巻収録のDAYS10にてバレンタインチョコを152個貰っていることから公式にモテる設定となっている。ボイルの発明であるRDPを「かっこいい～じゃ～ん」と言ったり豹がMRIをくっつけたまま歩いているのを「それおしゃれだね～」と言ったり、有月のvsキンダカにおける動きに「やるね～」と言うなど、味方に対してはポジティブな言い回しをするが、煽るような言動も見られる。

### 3. 豹について

初登場はDAYS14 スニーキングミッションと南雲ほどではないが比較的早い。ORDER初登場シーンで南雲に坂本と会ったことを詰問している。「殺してやろうか」「信用ならねえ」と物騒な言動から南雲との関係は犬猿の仲なのかと思いきや、コミックスの幕間コマでは南雲から髪型をからかわれてイラっとながらぶるぶる震えているなど、仲の良さが伺える。DAYS38 ノーブレーキにおいて再登場した際も南雲の発言に「白々しいんだよテメェ」と突っ込んだり、南雲の挑発にキレる様子を見せたりと仲睦まじい様子が見られる。その際に同乗している高齢の笹さんを気遣って大佛に丁寧に運転するように叱責していることから周囲へ気を使うタイプであることが見受けられる。DAYS55において坂本の行動を諫めつつも、妻や子どもを守りたいという気持ちに伝えるようにヒントを与え、坂本より「あいつは昔から優しい」と評されている。9巻の巻末おまけ漫画においては人気投票に必死になる大佛の普段と違う様子を気遣っていること、第一回人気投票のキャラ紹介においても「優しい」と書かれており、公式に優しい男認定されている。

### 4. 二人の会話から推測される関係について

DAYS14 スニーキングミッションにおいては南雲のことを信用していないなどと殺伐とした雰囲気醸し出していた豹だが、DAYS38 ノーブレーキにおいては南雲の発言に律儀にツッコミを入れていることや、豹の発言に揚げ足をとる南雲が見受けられることから気安い関係であることが推測される。DAYS55においては調査のために坂本の病室にやってきた豹と同行しており、その際にJCCにおいて先輩後輩関係であったことが判明する。DAYS119においてキンダカの病室に見舞いに来た際、四ツ村に殴りかかる坂本を止めた際に「わっ豹じゃんなんでこんなところにいの～？ひさしぶり～」という南雲に対して「相変わらず敬語が使えねえなクソ後輩ども…」と返事をしており、旧知の仲であることが伺える。DAYS 55の「豹は甘いな～だからいつも損するんだよ」「うるせえ」のやり取りや、DAYS127において豹の訃報を聞いた南雲がそれまでの原題軸の展開において一度も見せたことのなかった心の声で（この世界は才能がない奴よりもいい奴から先に死んでいく…おつか

れ 豹) と悼んでいることから、JCC 時代～ORDER としての活動において二人がただの先輩と後輩、同僚としての関係ではなかったことが読み取れる。

## 5. 豹×南雲というカップリングが持つ可能性

属性としては以下に羅列できる。

- ・先輩×後輩
- ・同僚
- ・強面×優男
- ・体格差
- ・押しに弱い攻め×攻めが大好き受け
- ・誰にでも優しい攻め×うさんくさい受け

属性萌え、という観点から見てもかなりの可能性を秘めていることがここでも確定している。誰にでも常ににこにこ笑顔で絶やすことのない南雲のことを最後に思い出した時の表情が本編においてもほぼ見られない憂い顔であったことから、豹に対して南雲がどれほど心を許していたのかが読み取れる。また豹も死を覚悟した時に思い出すのが南雲という後輩であったということから、表面的な言葉のやりとり以上のものがこの二人の間にあったことは間違いない。

JCC 入学が 13 歳であることが本編において確定した結果、二人の付き合いについては 27 歳までの 14 年間以上の期間に渡っていることが判明しているため、妄想の余地の幅がかなり広いことも魅力の一つである。

## 6. 豹×南雲を書く・描くと得られる効能

ヒョウナグを書くことにより得られる効能には現在のところ、以下の内容が確認されている。

- ・ヒョウナグについて考えるだけで幸せな気持ちになれる (オキシトシン、セロトニンの分泌)
- ・南雲の可愛らしさを実感できる。ありとあらゆるコマのありとあらゆる角度の南雲の可愛さに尊みを覚える
- ・豹の人柄の良さ、南雲とのやり取りの可愛らしさ、格好良さに身悶える
- ・豹の後を歩きがち、やたらとお距離が近い南雲に「この人、もしかして……好きなの？」と思うようになる

- ・車酔いをするくせにわざわざ後の席にいる豹の方に顔を向けて煽っているところから「ねえ、好きなの……？」と思うようになる
- ・車酔いするくせに後を向いているということは、もしかして豹が事前に酔い止め飲ませてる……？と深読みするようになる
- ・映画を見る南雲と豹が映画を見るということ知っている南雲が存在する世界線に混乱し始める
- ・DAYS55にて「豹は甘いな～だからいつも損するんだよ」と昔から豹のことを知っているマウン  
トをとる南雲に対して「うるせえ」だけですませる豹に「付き合ってるよね、これ……？」とい  
う気持ちにさせられる
- ・JCC 卒でないと肩身が狭いという ORDER と明言されているものの、現時点で判明している ORDER  
の JCC 卒は（仮）四ツ村、（元）坂本、豹、南雲だけであることから鑑みるに、豹と南雲がいち  
ゃついていたからでは……？と考えてしまいその日常生活を撮っている可能性の高い京のカメラ  
を強奪したくなる
- ・DAYS 1 1 9 で直前まで四ツ村への殺意全力の、今まで作中で見たことのない麗しくも険しい顔  
をしていたというのに豹に会えた瞬間にいつものきやるるんくるんくるんお目々にほっぺたにち  
ょんちょんをつけて喜びを全開にしてしまう南雲に情緒が破壊される
- ・上終が坂本を評して「あいつだけは俺と同じぼっちだと～」という発言から、ししおさのほの  
ぼのとしたり取りの隣で無自覚いちゃつき披露していたヒョウナグがいたのでは……？と考  
えてしまい海水に浸かって壊れた京のカメラの修理を行わなければという気持ちにさせられる

## 7. 最後に

豹×南雲というカップリングの持つ可能性及び可愛らしさ、萌えが詰まっていることについてつ  
らつらと書き連ねたものの、私の語彙力ではこの二人のすばらしさを語りつくすにはまだまだ足り  
ない。原作の SAKAMOTO DAYS を読めば読むほど豹×南雲がそこに『ある』ということを実感し、そ  
してこの二人のやりとりの可愛らしさに身もだえていただけることは間違いない。ここまで人間を  
狂わせることができる豹×南雲というカップリングの魅力を少しでも感じていただければ幸いであ  
る。

### 参考文献

SAKAMOTO DAYS 1～15 巻

週刊少年ジャンプ

注：これらはすべて著者の妄想であり、鈴木先生及び集英社等には一切関係がないことを了承ください



# ヒョウナグお薦めポイント

この2人の魅力は言葉で説明するよりも何らかの物語にした方が圧倒的に伝わりやすいと思うのですが、限られたスペースに表現することが難しい為、ここでは簡単な説明とさせてください。  
まず1つ、登場シーンの少なさを割に絡みが多い。2つ、学生時代からの付き合いなので合法的に学パロ(※パロディではない)ができる。3つ、シンプルな人としての相性のよさです。  
豹という男は、ヘラヘラとした表情・ふざけた態度に本心を隠す南雲のシリアスな一面や、3バカでいる時の無邪気な様子を知っている数少ない人物ですが、それを知った上で普段のダル絡みに律儀に付き合っている、包容力のある男でもあります。

↓自リンクまとめ



当の南雲もそれに気づかない筈はなく、坂本に対して拳を交えつつ嗜める様子を見届けてから「豹は甘い男だがだからいつも損するんだよ」という言葉をかけています。この一言、私はその優しい性格から何かと損をしがちな豹の姿をいつも、見ているという南雲からの特大マウントとして受け取っています。

またこの2人は過去の坂本を知っているながらも実は現在の体型イジリをしたことがありません。このことから、人を外見ではなく本質で見るといふ価値観が一致していることが窺えます。他にも子供のことを身を挺して守るヒロイックな一面も似ていますね。

以上、いくつかの例で挙げた様々な点から豹と南雲は人としての相性が良いと言えます。とにかく結論として言いたいのは「このふたりはめちゃくちゃカワイイので原作を読み返す際は是非気にして見てみてください」というお願いの気持ちです……。

余談ですが、南雲の偏りには秒でキレ散らかすのに敵の煽りには1ミリもキレない豹のことが、私は本当に好きで好きで好きです。あと親友を疑われてブチ切れたのに豹が現れた途端「わつ豹じゃん」でカワイイお顔に戻る南雲が本当に好きで好きで好きです。まじかawaii。大好きです。

豹×南雲

かわいいので

みんなに描いて

ほしい